

# 町政を問う



大江 昇

## 次期町長への進退は 出馬しない

**大江** 次期町長への進退を伺う。

**町長** 初代町長として、新しいまちの基盤づくりが最大の使命との認識で、自治体の構築に誠心誠意全力を傾注し、町民への公約にある程度応えられたと思う。この際、次期町長選挙には出馬しないことに決心した。町民の皆様からの、今日までのご支援いただきました事に感謝申し上げます。

### 大江賢次文庫

**大江** 大江賢次文庫の設置と、寄附者の顕彰について

購入本の評価と読書利用の評価を伺う。

**町長** 小学校では、童話や絵本のシリーズ物、図



町民運動会開会式（溝口）

鑑、中学校では、文学作品や学習図鑑など「図書館教育の指導計画」に基づき活用されている。

**大江** 長期に渡る保存が必要では。

**町長** 生徒用の図書として、各学校ともブックコートでカバーをし図書台帳において管理されている。

**大江** 伯耆町として寄附、寄贈品台帳の一本化ができないか。

**町長** 必要と考え、台帳の整備について検討したい。

**大江** 基金使途の変更はできないか。

**町長** 学校図書整備を図るため、寄附者の意向を尊重したい。

### 寄贈品の展示

**大江** 分庁舎の空室を利用し展示する考えは。

**町長** 常設展示はむしろいいが、作品を整備をした上で、期間を設けた特別展示方法を検討したい。  
**大江** 寄附、寄贈品、顕彰等の取り扱いに対する検討委員会の設立の考えは。

**町長** 寄附者の意向に沿う取り扱いを、文化振興会等で検討したい。

# を問う



岸本武道館



野坂 明典

## 学力テストの公開は 現在は考えていない

**野坂** 全国的に行われた小・中の学力テストは、県別の成績が公開されている。鳥取県では市町村別学校別の成績を全国に

先駆けて公開する方向になつていたが、現場からの反対で現在は非公開にすると思われている。テスト結果が届いてい

るか。

**教育長** 届いており内容は把握している。

**野坂** 秋田県は2年連続して好成績を収めている。秋田県知事は知事の責任

に於いて公開すると言っている。鳥取県知事は公開した自治体や学校には特別に補助金をつけると

言っている。伯耆町教育委員会は公開しないか。

**教育長** 諸般の事情を考慮して公開しない。

**野坂** 文部科学省から全国のテスト結果とテストの分析が発表されている。その中に、朝食を必ずと

っているとか宿題を家でやっているとかでは差が見られるが教育長の見解

は。

**教育長** 伯耆町ではほとんど朝食をとっているが内容が大切である。

**野坂** 習熟度学級では、効果があると分析されている。伯耆町の学校はどうなっているか。

**教育長** ある教科、部分で実施している。

**野坂** 公開については現場の意見には充分留意し、平均を上回るものについては、堂々と公表すべきと思う。そうすることで子供も現場も励みにもなり自信になる。

**教育長** 課題が明らかになっているので学校で対処する。

### 中学校の部活

**野坂** 中学校での部活の位置付けはどのようになっているか。

**教育長** 教育課程外であるが指導計画を立てて実施している。

**野坂** 施設、指導者は足りているか。

**教育長** 設備は確保されている。一部専門的教員が不足しており学校外からお願している。そのためには町体育協会などと連携したい。

**野坂** 岸本武道館の柔道畳は古くなっており近隣にない硬いものだが練習に支障がある。

将来的には整備すべきと指摘しておく。

# 町 政



大森 英一

## 地域間格差は行政の責任

### 国に是正を求める

**大森** 格差是正は国、県、町の責任である。地域間格差が町民生活にどのような負担を与えているか、実態と対策について伺う。まず、町長にとって地域

**町長** わが国において拡大し続ける、経済力をはじめとした「都市と地方との格差」であり、少子高齢化の進展や景気の低

迷、そして国の分権改革などの影響を受け、地方は衰退していき、また、財政基盤の弱い地方の自治体は窮地に追い込まれている。

**大森** 格差の内、一番に取り組むべき格差対策は何か。

**町長** 経済力の格差の解消にむけた「地方の財政基盤の確立」が必要。農村地域が自立できる様に再生の為の措置を求め続ける。

#### 農業・農村は守れるか

**大森** 中四国地方九県（含鳥取県）は、国に過疎対策の充実を共同要望しているが、過疎化は止まらない。「生き甲斐づくり」や「組織体制づくり」など、町独自の過疎

対応策が必要ではないか。

**町長** 農家の高齢化対応として、販売施設や企業との連携を図り、様々な集荷システムや交流のネットワークづくりなど、各地域に合った生きがい作りを進めていく。また、小規模な営農組織や、機械の共同利用組合など、その担い手育成について多角的に支援策を実施していく。

#### 公民一体の為にソフト事業が必要

**大森** 「まめまめクラブ」、**町長** 「明るいまちづくり懇談会」が、町民の情報交換の場となっている。町民のニーズとして、懇談の場を別に提供すべきではないか。合せて、ボランティアセンターの検討は、**町長** 二つの取り組みは、

健康維持、人権啓発と、それぞれ重要な役割があり、この体制で継続する。ボランティアセンターについては、「協働のまちづくり推進事業」を充実させる。

#### バス停の安全

**大森** 伯耆町型バス運営事業は順調な経過をたどっているが、バス停の位置で安全上の指摘がある点検と対応が必要ではないか。  
**町長** 学校関係団体からの要望もあり、現地調査の上、検討する。地域の協力得ながら通学安全を確保する。



高齢者健康運動会（溝口地区）

を 問 う



小村 公洋

農業に対して緊急支援を  
現段階での実施は難しい

**小村** 「本気で頑張る支援事業」は何件の申請があったのか。

**町長** 四件の内、農業に関するものは今後申請予定となっているものは加工品の製造のみ一件である。

「産業ネットワーク形成事業」は全体で五十団体六十二人の参加となっている。

**小村** 特産品開発や地場産業振興の基本方針は。今年度中ほどの程度まで実施予定か。

**町長** 地域産業の活性化を重点事業として取組んでいる。本年度は新商品開発及び改良支援四件などを完了したい。又情報の発信経営相談を月一回のイベントで物産販売を行いたい。

**小村** 農業の現状維持は

難しく町独自の緊急支援は出来ないか。

**町長** 補助制度の創設を行うことも支援の一つであるが費用対効果及び将来の価格の情勢を見据えた場合には現段階で実施は難しい。

柵水高原ホテルの対応は

**小村** 六月議会で解体工事費及び抜本対策を国県と交渉する旨のことであつたがその後の交渉経過は。

**町長** 七月に国県町と三者で石綿飛散防止の打合せ会を開催した。

**小村** 工事費の一六五万円について所有者に対して町の請求権はあるが請求しないとの町長答弁であつたがその理由は。

**町長** 町が公社に請求し

た場合は、財政措置が出来なく、町としては確実に回収出来る方法を選択し請求を行わないことにした。

**小村** 固定資産税の滞納分の請求はしないのか。

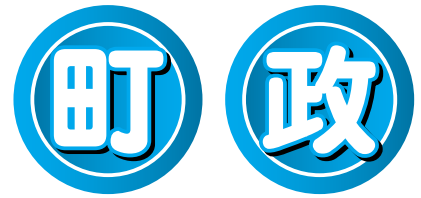
**町長** 地方税法規定により登記簿上の所有者として課税している。

**小村** 今後町はどの程度まで保全管理をするのか。今後町の財政負担が生じるのか。

**町長** 本来であれば町に保全管理をする責任はなく今後の対応については難しいものと考え。根本的な対応については環境省と県に要望している。



休業中の大山高原ホテル



細田 栄

# 合併の成果と問題点

## 社会基盤の整備を推進した

**細田** 平成十七年に合併後四年目を迎え、ようやく落ち着いた感があるが、合併に伴う光と影の部分を明確にし、町民に説明する必要があるのではないか。

**町長** 溝口駅前整備事業、溝口統合簡易水道、こしき保育所移転新築、町内循環バス、各道路整備など懸案事業が進展した。

一方、国の三位一体改革により、予想以上に地方交付税が落ち込み、現在のような景気低迷は予測できなかった。

**細田** 合併後の成果と問題点を総括し、新町のまちづくりについて、今一度町民の意見を聴取して、次期総合計画を改定する必要があると思うが、アンケート等を実施する考えはないか。

**町長** 次期総合計画の策定は私の任期より先の事となるので、答弁は差し控えるが、個人的には住民意見の聴取は必要と考えている、合併まちづくり計画の策定時にも、住民アンケートを行った。

### 第二次総合計画の策定

**細田** 現在の財政状況では、実現不可能となった合併まちづくり計画の見直しが必要ではないか。新しいまちづくりに向かって「たくましく生き抜く」ためには、新町の住民の手で「新しいまちづくり計画」を策定すべきではないか。

**町長** 合併まちづくり計画は、合併後に策定した総合計画に、その趣旨を引き継いでいるので、新

たな「まちづくり計画は」必要ないと考える。

**細田** 合併前の財政見通しや経済情勢が現状とあまりにもかい離している。伯耆町の一体感を更に強化し、現状の財政状況に合致した平成二十三年度

からの第二次基本計画を前倒しして策定し、古い合併まちづくり計画から移行する必要があるのではないか。

**町長** 総合計画の後期計画については、住民アンケートの実施や、改めて

財政推計を行うなど、現状に即した計画になるものと考えている。

### 選挙公報の発行

**細田** 本町では来年一月に町長選挙、四月には議員選挙が執行される予定であるが、唯一公平に有権者の皆様に政策をつたえる選挙公報が発行できないか。

**町長** 選挙管理委員会から要請があれば、条例案補正予算を提出したい。

**選挙管理委員長** 鳥取県西部で既に選挙公報を発行しているのが、二市四町一村で、次回から発行する予定が一町という状況であり、本町も次期選挙から公報を発行する方向で準備を進めたい。



新こしき保育所運動会

# を問う



幅田千富美

## 町民の暮らしを守って

### 状況を見て対応

#### 「燃油・物価高騰対策」を

**幅田** 燃油・物価高騰による町民生活への影響をどう把握されているか。

農業・福祉・教育分野の支援、福祉灯油の実施、町独自の貸付制度の創設、県社協の貸付制度の改善充実への考えは。

**町長** 今後の燃油価格状況を見定め、国県対策等総合的に検討する。貸付は社協で実施しているの

#### 火災警報器の無料設置を

**幅田** 消防法で義務づけられた火災警報器を六十五才以上一人ぐらし高齢者に、日常生活用具支給事業を活用し、無料設置が出来ないか。(電磁調

理器、自動消火器も対象)  
**町長** 所得に応じて一部負担もあるが非課税世帯は無料で希望者に設置したい。

#### 非正規職員処遇改善

**幅田** 公務サービス現場は多くの非正規職員でまかなわれ、年二百万円以下の低賃金、ボーナスも年五日分、ゼロの人もある。役場がワーキングプアつくってはならない。改善を求める。

**町長** 今年度専門職の保育士、看護師の賃金日額二百円引上げた。他にについては今後処遇改善のため検討すすめたい。

#### 日本電産撤退

**幅田** 今年末に本町から撤退し、滋賀に移転との事だが県も町も莫大な支援をしてきた誘致企業で、世界的にも利益を上げて

いる。誘致から二十年も経たないのに一方的に撤退ではあまりにも身勝手すぎる。社会的責任はどうなっているのか。本社長と会って交渉されたのか。その後の対応と社会的影響、労働者の権利をどう守られるのか。進出協定の見直しは。

#### 町長 従業員一〇〇人中五十一人が退職希望。

県と一緒に所長を訪問し、雇用確保と跡地利用の協議をした。本社長との面会を申し入れていた。協定見直しは今後様々な検討が必要だ。

#### 小・中学校統廃合問題

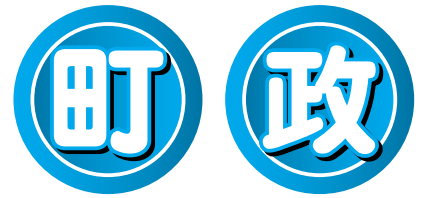
**幅田** 児童、生徒減少の中、国が示す学校の適正規模をもとに、アンケートが取られ、統廃合の協議が進められている。学校は地域の核、町づくりそのもの、全町民に権限がある。住民合意はどうされるのか。

**教育長** 検討会の答申をもとに将来の小・中学校設置方針を定め、町民の理解と協力を求める。

**幅田** 国の教育リストラダ。文科省も全国教育会議も「慎重に」との指針を出している。住民合意なきものは見直しが必要と指摘しておく。



農業体験 (二部小)



中田 壽國

# 住宅・工業団地の販売促進

## 建築条件を緩和

**中田** 町が所有している清水の里住宅団地は販売開始以来、約十年経過し、二十六区画中十二区画が販売済である。残り十四区画は残ったままでここ数年一区画も売れていない。

各種施策が講じられているが効果が表れていない。

販売促進にあたり、例えば価格の大幅な引き下げ、建築条件などの緩和措置、各種税金の免除、減免の実施、など新しく施策をたて販売促進を行う考えがあるか。

**町長** 昨年四月に分譲単価の引き下げ、購入者紹介報奨金制度の導入などの施策を講じたが、販売促進につながっていない。分譲単価の引き下げは、もう少しばらつき様子を見た

い。建築条件の緩和について、土地のみでの販売も行う方向で検討する。固定資産税などの減免については、一般住民の方との公平性や地方税法の趣旨から馴染みにくいと考ええる。

**中田** 本年に入り町内の誘致企業等の相次ぐ撤退及び廃業と厳しい状況下にある。

事業税の大幅な減収、雇用の悪化が懸念される。大原、大平原等の工業団地への企業誘致の近況について伺う。

**町長** 今年度四月から企業と直接折衝したのは四件、県の商工労働部からも数件の照会を受けている。  
**中田** 今年四月に関西事務所が設置された。現在までの成果及び状況について伺う。

**町長** 関西事務所の主な活動は、県と連携で行う企業訪問、県人会の支援イベントの開催、定住相談などを行っている。

これまで、企業の訪問社数は約四十社、観光PR、販路開拓、人脈開発などを目的としたイベントなどである。

徐々にではあるが効果が現れていると考えている。

### 成人式の記念品

**中田** 伯耆町では毎年夏の八月十五日に成人式を挙行している。

成人式はいわゆる人生最大の節目である。この式典には毎年約三分の二の人が出席している。そしてその出席者のみに記念品が贈呈されている。

当地で成長し、小中学校を卒業して成人式を迎えた該当者全員に記念品を贈ってはどうか。

**教育長** 今年度の成人式の該当者は一八九名で、

出席者一三八名だけに記念品として、ボールペンセットを贈りました。来年度以降、検討します。



清水の里住宅団地